

CROWN

report2026

クラウン・パッケージ
サステナビリティ報告書
2026

思いを形にする
箱づくり。
開ければ、広がる
楽しい未来。





楽しくできる分別体験を通じて、 資源リサイクルの大切さを地域の皆様に伝える

当社の環境配慮型食品容器「ペリッとラミ」を使った分別体験をB.LEAGUE「シーホース三河」のスポンサーゲームで実施しました。“開いてフィルムをはがす”という分別作業を楽しみながらできるよう回収ボックスに工夫を加え、多くの方に資源循環に触れていただきました。

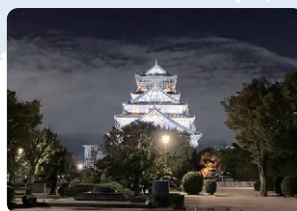


他社から学び、 誰もが活躍できる職場づくりにつなげる

CSRイベントの一環として株式会社吉村様を訪問し、講演や工場見学を通じて持続可能な社会に向けた取り組みを学びました。従業員一人ひとりを尊重する考え方に触れ、今後の職場づくりを考える多くの気づきを得る機会となりました。

ウォーキングイベントで 拠点間のつながりを深める

毎年実施しているウォーキングイベントでは、健康への意識を高めながら、楽しく体を動かすきっかけづくりを進めています。グループ対抗の歩数競争やフォトコンテストも行い、拠点を越えた交流が生まれるなど、健康づくりと社内のつながりの両面で実りある取り組みとなりました。



目次

1 クラウンNEWS

3 地域発TOPICS

5 わたしたちのこだわり

7 社長×社員座談会

11 CSRに対する考え方

12 数字で見るクラウン・パッケージ

13 環境に関わる活動

15 社会に関わる活動

18 企業統治に関わる活動

インターンシップを通じて、 学びと成長の機会を創出

学園祭で使用するトレー製作を通じて、「ものづくり」と「社会とのつながり」を体感していただきました。企画、デザイン、プレゼン、製造の一連の流れをともに体験するなかで、学生と当社の双方に新たな学びが生まれる機会となりました。



地域の皆様への感謝を込めて恒例の「マルシェ」を開催

大阪クラウンビルのレンタルスペース「min-pack」で開催した「min-packマルシェ」には、多くの地域の皆様にご参加いただきました。多彩な催しを通じて世代を超えた交流が生まれ、地域とのつながりや信頼関係をあらためて深める機会となりました。



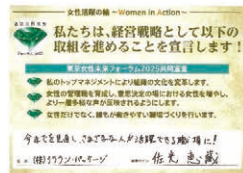
min-packとは

鶴橋駅近くの自社ビル2～4階に設けたレンタルスペースです。学びや交流、発表の場など幅広い用途でご利用いただいており、地域の皆様にとって身近で、人と人をつなぐ拠点として親しまれています。



「東京女性未来フォーラム2025共同宣言」で 誰もが活躍できる職場づくりの思いを共有

「東京女性未来フォーラム2025共同宣言」への参画を通じて、誰もが活躍できる職場づくりへの思いをあらためて共有しました。さまざまなライフイベントを迎えても働き続けやすく、自分らしく力を発揮できる環境づくりを、これからも着実に進めていきます。



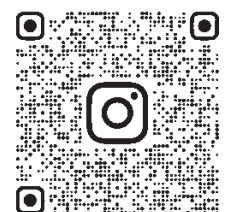
ここでしかわからない クラウン・パッケージの 魅力を伝える 新たな発信をスタート

入社を検討されている皆様が、入社後の働く姿や社内の雰囲気を具体的にイメージできるよう、採用公式Instagramを開設しました。採用情報に加え、社内イベントや日々の取り組みも発信し、クラウン・パッケージらしい魅力をわかりやすく伝えていきます。



アスエネESG評価で プラチナアワードを 2年連続受賞

アスエネ株式会社が提供するESG評価クラウドサービス「アスエネESG」の2025年度評価において、当社は上位1%の企業に贈られるプラチナアワードを二年連続で受賞しました。日々の積み重ねが評価として結実したことを励みに、今後もESGの取り組みを着実に進めていきます。



@CROWNJINJI_SNS

Check!

編集方針

本レポートは、お客様やお取引先様、従業員を含む幅広いステークホルダーの皆様へ、クラウン・パッケージのビジョンやサステナビリティについての取り組み状況をわかりやすくお伝えすることを目的に発行しました。

対象範囲 株式会社クラウン・パッケージ

対象期間 2025年4月1日～2026年3月31日
(2025年度の実績を中心に一部本期間前後の情報を含め報告しています)

発行月 2026年10月

次回発行予定 2027年10月

2025

地域発TOPICS



「小牧まち美化ウォーク」に参加

小牧市などが共催する「小牧まち美化ウォーク」に参加しました。ごみ拾いをしながら3.4kmを歩き、地域環境の美化に貢献するとともに、参加者自身の健康づくりにもつなげました。

6 名古屋



「可児の企業魅力発見フェア」に参加

「可児わくわくWorkプロジェクト」登録企業として、地元就職促進イベントに参加し、高校生へ企業説明を行いました。参加高校出身の先輩社員もブースに入り、当社を身近に感じてもらえるよう、わかりやすい説明を心がけました。

5 岐阜

「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業」に登録

誰もが働きやすい職場づくりを進めるため、奈良県の「社員・シャイン職場づくり推進企業」に登録しました。育児・介護の両立支援や地域雇用の推進など、これまでの取り組みが評価されました。奈良県知事表彰をめざして、より良い職場づくりに取り組みます。

7 大阪



「BLUE SANTA」で ごみ拾い

地域清掃活動「BLUE SANTAごみ拾い」に参加しました。「佐賀から海にごみは行かせない！」を合言葉に約1時間活動。たばこの吸い殻の多さにも気づき、環境美化と意識向上につながりました。

8 九州



旧実習生寮を食堂へ改修整備

実習生寮の新築移転に伴い、旧実習生寮を従業員食堂として再整備し、ソファ席やオフィスコンビニを設けました。旧食堂スペースは会議室やキッズルームとして活用しています。

1 仙台



「第23回飯能新緑 ツーデーマーチ」に参加

飯能市主催の「飯能新緑ツーデーマーチ」に参加しました。1日目は7名が5km、1名が30kmを完歩し2日目は工業団地の一員として接待所を運営し、参加者に飲み物やお菓子を配布。地域の皆様と交流を深める機会となりました。

今年の
ヤギの名前は...

「たんぽぽ」「ミルキー」
「猫乃みいむ」
「なっち」「Y.G(ヨギ)」

埼玉事業所の雑草をきれいに食べてくれる「ヤギ除草課」の5匹です。例年新入社員が名付け親となり、ヤギたちもとてもなついています。

2 埼玉

「野田市産業祭」に出展

10月の「野田市産業祭」に中里工業団地会の一員として出展し、事業紹介を行いました。抽選会の景品として段ボール製クリスマスツリーを提供し、地域の皆様に当社を身近に感じていただきました。



3 東京

「ごみの分別講座」を 合同開催

伊勢原市役所、伊勢原市国際交流委員会と合同で、外国人技能実習生向けに講座を開催しました。通訳を交え、クイズや実践形式で学ぶことで、正しいごみ分別への理解と環境意識の向上につなげました。



4 神奈川

家族参観

全国の複数拠点で家族参観を開催し、工場見学や懇親会を通じて、従業員のご家族に仕事内容や職場環境への理解を深めていただきました。従業員にとっても、日々の仕事への誇りや働きがいを高める機会となり、安心して働ける職場づくりにもつながっています。



素材から考える

新しいパッケージ文化のはじまり



■ EFB(パームヤシカサ)のアップサイクル

加工食品や化粧品で使われるパーム油の搾油後に生じる「EFB(パームヤシカサ)」は、世界で年間約8千万トン発生しています。当社はこの未利用資源を紙やパルプモールドへアップサイクルし、有効活用を推進。環境負荷の低減につなげることで、持続可能なものづくりに取り組んでいます。



■ 研究・開発

当社は紙の可能性をさらに広げるため、非フッ素耐油紙をはじめさまざまな機能紙を開発し、製造テストを重ねて安全・安心なパッケージをお届けします。また、未利用資源を活用したスマートパピエや、平和への思いをつなぐカラフルウィッシュなど、新たな価値を生み出す素材開発にも挑戦しています。



印刷で魅せる

商品の魅力を最大限に伝えるために



■ SD(スーパーデジタル)プリントのバージョニング印刷

多様化する消費者ニーズに応えるSDプリントは、同じ形状・材質で数種類のデザインの印刷が可能です。季節商品やテストマーケティングでは、時間短縮や廃棄リスクの低減に貢献。売り場に彩りを添えるデザインで「選ぶ楽しさ」を演出します。



■ リサーチ活動～常に新しい情報の発信源として～

デザインのトレンドや売り場での魅せ方を学ぶため、定期的に社外でリサーチ活動を行い、その内容を社内でも共有しています。現場で得た気付きや意見交換による新たな視点を活かし、お客様のご要望に応える提案活動につなげていきます。



形状を可能にする

箱に込める思いを実現するために



■ コンテスト受賞～お客様とのコミュニケーション～

株式会社モスフードサービス様と共同で開発したホットドッグ用パッケージが、2025日本パッケージングコンテストで「アクセシブルデザイン包装賞」を受賞しました。両社で何度もテストを重ねた新パッケージは、食べやすさの向上とポリシート削減の両立を実現しました。



■ より良い箱づくりのために～製・販コミュニケーション～

「製販一体」体制を強みとする当社では、製造・業務・営業・デザインが日常的に連携しています。お客様の思いとモノづくりの視点を擦り合わせながらお客様に満足いただける品質と生産性を両立し、商品価値の向上に貢献しています。



チーム力で支える

つくるだけじゃない、クラウン・パッケージの力



■ 品質管理／改善提案

原材料の受け入れから製品化まで、全工程を多角的に管理し、安定したモノづくりを支えています。有害化学物質はクラウドで一元管理し、製品の安全性向上を推進しています。さらに改善提案制度を通じて、品質や生産性のさらなる向上に取り組んでいます。



改善提案 受賞者

神奈川事業所
鈴木 亘

抜き型刃の改善で品質と生産性の向上を実現しました。木型班として、前後の工程に何か役立つことはないか日々考え、今後も仕事に取り組めます。



■ 総務／業務

総務部門は経理・労務や採用・地域活動など幅広い領域で常に情報をアップデートし、経営と従業員双方の視点で会社を導いています。一方、業務部門は全社で年間50万件を超える受注をフレキシブルに行うため、社内外で連携を取り、サプライチェーン一体となって、適正な納期とコストで商品をお届けする基盤を支えています。





／ クラウン・パッケージらしさを考える ／

社長&各部署社員6名の 座談会を実施

年齢も経験も部署も異なるメンバーが力を合わせ、製品をお客様に届ける——
その営みのなかにこそ、クラウン・パッケージの価値があります。

今回、佐光社長と各部署の社員6名が集い、
「一人ひとりの仕事はどうつながり、会社としての力になるのか」を語り合いました。



概要

東京事業所にて、佐光社長と営業・デザイン・製造（加工・印刷）・業務・総務の各部署の社員6名が参加し、座談会を開催しました。

目的

部署を超えた対話を通じ、クラウン・パッケージが社会に届ける価値を社員自身が再認識するとともに、お客様やパートナーの皆様にも私たちの思いを発信します。

主なアジェンダ

1 クラウン・パッケージの人柄とソフト力の源泉

先輩・上司が築いてきた前向きな文化と、それを次世代に引き継ぐ役割について語り合いました。

2 チームで付加価値をかけ合わせる「かけ算の仕事」

一人ひとりの仕事が連鎖し、お客様の手元に届く時には何倍もの価値になる——その考え方と実践を共有しました。

3 お客様の声を起点にしたものづくりと、パッケージ業界の未来

マーケットインの発想でお客様の課題に応える姿勢と、パッケージの可能性について展望しました。

一人ひとりの付加価値が連鎖し、 お客様に届く時には大きな感動になる

受け継がれる企業文化

——そして、次に渡すバトン

改めて感じたのは、当社の社員は前向きな人が多いということ。社員アンケートでも「困った時に相談しやすい」という声が出るのは、先輩社員の前向きな姿勢が自然と次の世代に受け継がれたからでしょう。この文化を築いてくれた先輩社員に感謝するとともに、バトンを次の世代へと渡す責任があります。

ソフト力の強化

——人が機械の本領を引き出す

私の社長就任当時、工場には多くの設備がありながら使いこなせる人材が十分ではなかった。優秀な機械も動かす人が優秀でなければ本領は発揮できない。そこで製造部門のリーダー育成に着手し、新入社員研修や中途採用者研修などでもソフト力の強化に舵を切ることになりました。

たし算ではなく「かけ算」

——前工程の成果を受け取り、価値を乗せて渡す

仕事は「たし算」ではなく「かけ算」。なぜなら、私たちの仕事の一つの流れでつながっているからです。それぞれの部署が前の工程の成果を受け取り、さらに価値を乗せて

次へ渡す。“受け取って、乗せて、渡す”連鎖こそがかけ算の本質です。各部署が少しずつ価値を積み重ねていけば、お客様に届く頃にはその価値は大きく膨らんでいます。一方で、かけ算はどこか一つでもゼロを出せば全体がゼロになる。だからこそコミュニケーションを取り、お客様に届くまでが仕事だという意識を持ってほしいのです。

お客様の声を起点に

——「巧遅は拙速に如かず」の真意

「巧遅は拙速に如かず」。入社式で毎年伝える言葉です。単に急げという意味ではなく、走りながら考え、お客様と一緒に完成させていく。その姿勢が物事を前に進めます。また、お客様の使い勝手を起点にしたものづくりを実践するため、販促品の統一化を進めました。各地域のお客様の評価を集約し、ニーズを的確に捉え、応えていく体制を整えています。

100点満点のパッケージはない

——変化の時代にこそ、チャンスがある

パッケージ業界を取り巻く環境は大きく変化しています。しかし、だからこそチャンスがある。世の中に100点満点のパッケージはありません。消費者として「使いにくい」と感じる場面こそ改善の余地があり、それが私たちの存在意義です。クラウン・パッケージでは、環境負荷が低い素材もたくさん扱っており、時代にもマッチしています。「この商品にとって最良のパッケージとは何だろう」そう考えながら日々を過ごせば、この業界の将来は明るいと確信しています。



代表取締役社長
佐光 恵藏



“ 人柄の良さに支えられた19年。働きやすい環境づくりで生き活きと仕事ができる人間関係を支えたい ”

入社して19年間続けてこられたのは当社の「人柄の良さ」のおかげです。どの部署もフレンドリーで仕事がしやすい。一方で、社員が辞めてしまう最大の原因は人間関係だと感じています。だから私は、安心して相談でき、やりがいを持って働ける環境を総務の力でつくりたい。社員が生き活きと働く会社こそお客様から信頼されるパートナーだと考えています。

総務部 倉持 真純



“ 強みがないことが自分の強み。現場のリーダーに任せる度量を持ち、チームの雰囲気を守り抜く ”

「まずはやってみよう」という気持ちが大切だと考えています。90名の部下を一人で見るのは不可能だからこそ各リーダーに任せ、信じて待つ。その度量を持つことが自分の成長課題です。とくに重視するのはチームの雰囲気、不良発生時も率先して空気を変えるよう努めています。お客様の難題には、他拠点の仲間と相談して連携するなど、“横のつながり”で応えています。

製造部 加工課 吉野 賢



“ 後輩の成長こそがチームの力。仕事の向き合い方、向上心から生まれる喜びを後進に伝えていきたい ”

自分が印刷した製品を街なかで見つけた時の喜びは格別です。オフセット印刷機のチームリーダーとして4年目の最近、後輩の成長こそがチームの力になると感じています。失敗した時もすべて教えるのではなく、まず自分で考えさせる。仕事に向き合う姿勢そのものを育てたいと思っていますし、他工程の知識を積極的に学ぶ向上心も周囲に広げていきたいと思っています。

製造部 オフセット印刷グループ 渡辺 光騎





“ 覚えることは多い。だからこそ
若手に根気よく寄り添い
続ける指導が、当社の強みを
次世代につなぐ ”



当社は素材、印刷、形状など組み合わせの豊かさが強みです。覚えることも多いからこそ、結果が出なくても根気よく寄り添う指導が欠かせません。私は各課の取り組みを気軽に知ってもらえるよう工夫して部署内に発信し、部署同士をつなぐ役割を心がけています。また、若手の育成のみならず、影で奮闘する上司や中堅のがんばりにも光を当てたい。その思いも含め発信しています。

営業部 デザイン課

堀内 優希



“ お客様のご要望を正しく届ける。
その入口を管理することが
クラウン・パッケージの強みを活かす鍵 ”



大切にしているのは、お客様の品質・納期・コストなど、ご要望の優先順位を正しく捉え、自分の意見で着色せず社内へ落とし込むことです。当社には他社では難しい形状や製品を実現する技術力があります。しかし入口の管理が不十分だと、現場の混乱や非効率を引き起こし、お客様に迷惑をかけることになりかねません。チームの代表としてお客様との接点を預かっている。その責任をつねに意識しています。

営業部 網蔵 大



“ 皆で仕事を成し遂げるおもしろさと発言しやすい雰囲気の中で
実感する成長。「まずはやってみよう」を胸に ”

ミーティングで自分の意見を汲み取ってもらえた時、チームの一体感と自分の成長を実感します。年齢も立場も異なる仲間と一緒に一つの仕事を成し遂げるおもしろさは、当社ならではの感覚です。上司から仕事を任される責任感と充実感も成長の糧です。今日聞いた「まずはやってみよう」の精神は、考えすぎる自分にとって大きな気付きになりました。

業務部 購買課 西丸 総

CSRに対する考え方

クラウン・パッケージは「パッケージ文化の創造を通じて持続可能な社会の実現に貢献する」企業使命のもと、CSR経営をより具体的に実現していくため、CSR基本方針を2022年に定めました。また、2022年からはサステナビリティ推進の専任部署を設置し、社長を委員長とした全社横断的な体制を組織し2030年に向けたCSRビジョン、環境ビジョンの達成に向け活動を進めています。

CSR基本方針

私たちは永遠のベンチャー企業精神を持ち続け、未来の当たり前をつくることを目指し、あらゆるステークホルダーの皆様から愛され信頼される企業活動を行います。

マテリアリティ(重要課題)

2021年に、自社の事業活動や社会に与える影響の大きさを踏まえ、とくに注力すべき課題をマテリアリティとして特定しました。今後は、これらの課題の解決に向けた取り組みを進めていきます。

CSRビジョン2030

マテリアリティ(重要課題)

環境(E)	▶ 環境に配慮した事業運営	P13へ
	▶ 環境配慮型製品の開発・推進	P14へ
社会(S)	▶ 人権の尊重	P15へ
	▶ 安心して長く働ける職場環境の整備	
	▶ 多様性を尊重した働き方の推進	P15-17へ
	▶ 製品の品質向上と安全性の確保	
企業統治(G)	▶ 社会課題の解決に寄与する製品の開発と推進	P16-17へ
	▶ 地域社会との調和と社会貢献活動	
	▶ 内部統制と透明性の確保	P18へ
	▶ コンプライアンスの推進	
	▶ リスク管理	

CSR経営を進めるために

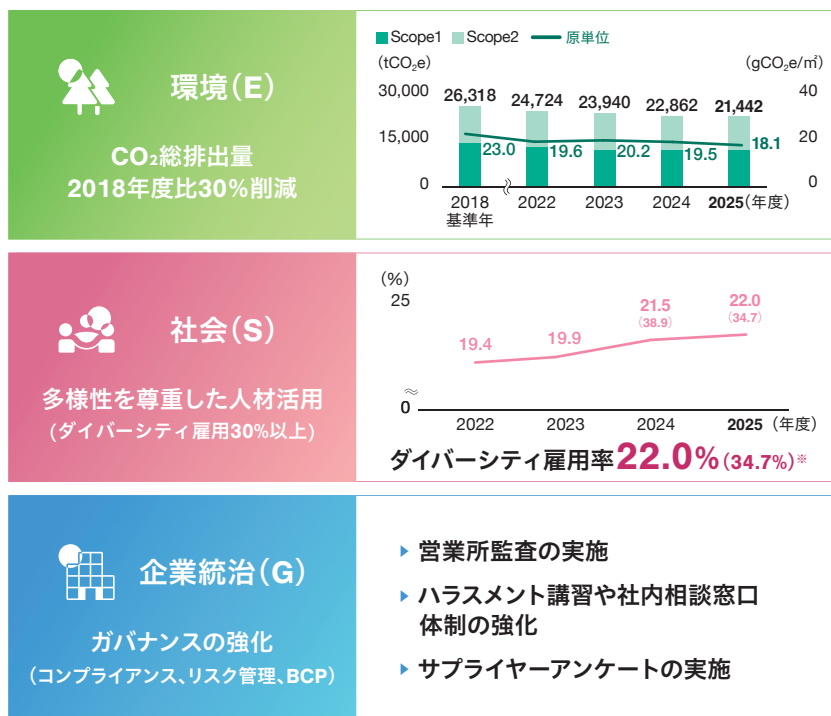
事業の指針となるマテリアリティやクラウン・パッケージ理念体系をまとめた「CSRカード」を全従業員に配布し、理解促進を図っています。2026年3月には内容を刷新し、内部通報窓口や災害時対応マニュアルも掲載しました。また、各事業所のCSR活動を報告・共有できるデータベース「みんな活(みんなのサステナ活動記録)」を整備し、CSR活動が日常的に根付く企業文化の醸成をめざしています。



CSRビジョン2030、環境ビジョン2030の進捗

2030年を達成年度とする各ビジョンは達成に向けて順調に推移していますが、CSRビジョンのCO₂排出量や環境ビジョンの廃棄物では、さらなる削減策が課題です。また、多様な人材活用やガバナンス強化も、事業活動に大きな影響を与える人材戦略の重要指標として迅速に取り組んでまいります。

CSRビジョン2030



※ () は外国人技能実習生を含む場合

環境ビジョン2030

重点領域①

温室効果ガス排出量の削減

▶ 目標① CO₂総排出量2018年度比30%減

2025年実績 2018年度比 **18.5%**削減

▶ 目標② 再生可能エネルギーの導入と活用

2025年実績

・購入高圧電力にて再生エネルギー**30%**メニュー採用

・名古屋営業所に太陽光パネルを設置

重点領域②

資源循環

▶ 天然資源の持続可能な利用の推進

2025年実績

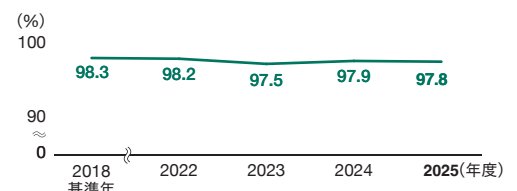
・スマートパピエ **101%**(売上mi前年比)

・森林認証紙の推進 **95%**(売上mi前年比)

▶ 廃棄物のリサイクル率99%以上

2025年実績

2018年度比 **97.8%**



数字で見るクラウン・パッケージ

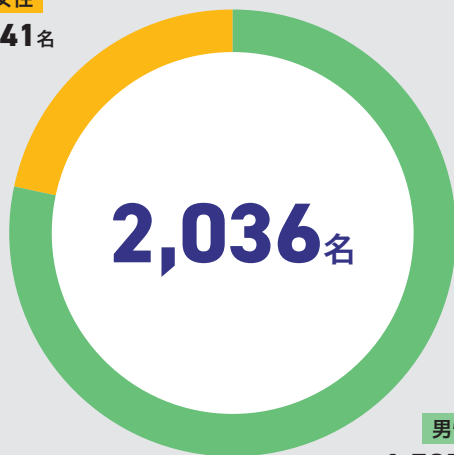
クラウン・パッケージでは、マテリアリティである「安心して長く働ける職場環境の整備」と「多様性を尊重した働き方の推進」に取り組んでいます。ここでは、働き方や人材育成に関するデータから、クラウン・パッケージの現在の姿をご紹介します。

多様な人材の活躍

従業員数

女性

441名



男性
1,595名

平均年齢

38.1 歳

男性

39.1 歳

女性

36.4 歳



平均勤続年数

12年3 カ月

男性

11年3 カ月

女性

7年7 カ月

勤続5年以上

1,161 名

勤続10年以上

798 名

ダイバーシティ雇用率

21.5%

※外国人技能実習生を含む場合34.73%です。

障がい者雇用率

3.4%

女性管理職比率

2.0%



ワークライフバランス

育休取得者数

71.7%

男性

56.7%

女性

100%



64.7% 71.7%

2024年 2025年

通信教育受講件数

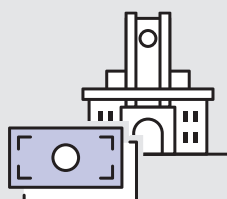
810 件



※従業員の成長は組織の成長とし、多様な自己啓発プログラムの取得をサポートしています。

奨学金返済制度利用者累計

79 名



有給休暇取得率

68.4%

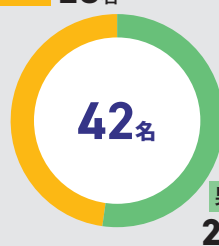
66.9% 68.4%

2024年 2025年

採用

新卒採用数

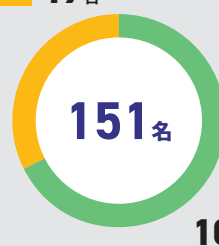
女性 **20** 名



男性
22名

中途採用数

女性 **49** 名



男性
102名



環境に関わる活動

環境に配慮した事業運営

名古屋営業所に太陽光パネルを設置

2025年10月、当社の名古屋営業所ビル屋上150㎡ほどのスペースに、約80枚の太陽光パネルを設置しました。導入後の2025年10月～2026年3月の6カ月平均では、蓄電システムも有効に使いながら、営業所内で使用する電力の約35%を今回設置した太陽光パネルの発電量でまかなうことができました。今後、年間を通じて省エネおよびGHG排出削減効果を検証し、他の事業所への導入も検討していく予定です。



名古屋営業所の屋上の様子

製造拠点での省エネ対策

エネルギー効率の良い設備導入に加え、遮熱や放熱対策で無駄なエネルギーの使用を減らしています。2025年9月、名古屋事業所では、年間を通じて安定した地中の温度を利用する「地中熱ヒートポンプ空調設備」を導入し、電力消費の大きい空調機器の利用を抑制しています。省エネルギーを前提とした生産活動への転換と、働きやすい職場環境への改善に向けて、拠点間での情報共有と施策を重ねていきます。



上) 地中熱ヒートポンプ空調設備 下) 各拠点での省エネ対策

バッテリーの長寿命化を通じて 環境負荷低減をめざす

製造現場で使用するフォークリフトに、バッテリー延命装置の導入を進めています。バッテリーの状態を適切に管理し劣化を抑えることで、充電回数や充電時間の削減につなげ、電力使用量の抑制をめざします。また、バッテリーの交換頻度を減らすことで廃棄物の削減にも貢献します。



フォークリフト

展示会で 「自然エネルギー」を活用

トレンド情報やお困りごとをお客様と共有する機会として、2025年度は18の展示会に出展しました。そのうち半分の展示会では、スマートエコナジー株式会社より「グリーン電力証書」付の自然エネルギー電力588kWhを購入し、再エネ100%で展示ブースを運営するとともに、自然エネルギー発電の普及にも貢献しました。

株式会社クラウン・パッケージは
展示ブースにて使用する電力を
グリーン電力で賄っています。

自然エネルギーで発電された電力の環境価値を
「グリーン電力証書」という形で受け取ることで、
自然エネルギーの電力を調達したとみなすシステムです。
支払った金額は自然エネルギー発電の推進に役立てられます。



2025年9月24日～2025年9月26日
第6回 化粧品開発展 大阪

グリーン電力パネル

グループ会社による CO₂排出量の算定を開始

当社は、2018年度よりScope1、2、2021年度よりScope3におけるクラウン・パッケージ単体のCO₂排出量を算定してきました。2025年度からは算定範囲を株式会社包む、株式会社コダマサービス、株式会社オカモト紙工のクラウングループ3社へ拡大し、事業活動にともなう環境負荷の把握を進めています。各社では、環境配慮型商品の企画・販売、物流におけるエコドライブの推進、製造工程におけるデータ管理の強化など、それぞれの事業特性を活かした取り組みを行っています。今後はグループ全体の排出量を可視化・分析し、削減目標の設定や省エネルギー施策の推進を通じて、脱炭素社会の実現に貢献していきます。



株式会社コダマサービス

事業内容

全国規模の総合物流企業として、一般から航空貨物を扱う運輸事業をはじめ、倉庫事業や保険事業などを展開。

算定担当者の声

配送の安全運航はもちろんですが、安全運転を心がけることは、自然とエコドライブにつながる取り組みとして、今後も積極的に推進していきます。



事業内容の詳細は
Webサイトを
ご覧ください。



株式会社包む

事業内容

紙・段ボール・ビニール・不織布・帆布などの幅広い素材とグラフィックデザインを組み合わせた商品を企画・販売。

算定担当者の声

環境に配慮した商品づくりを進めるとともに、環境負荷の低減に向けて、できることから着実に取り組みます。



事業内容の詳細は
Webサイトを
ご覧ください。



株式会社オカモト紙工

事業内容

観光土産品から医薬部外品まで幅広いパッケージを製造・販売。

算定担当者の声

データ収集が大変ですが、日頃からのデータ取得をしっかりと行うとともに、自身の行動についても可能な限りCO₂排出削減を心がけています。



事業内容の詳細は
Webサイトを
ご覧ください。

環境配慮型製品の開発・推進

軽量原紙×マイクロフルート

高さ0.5～0.6ミリの波(フルート)をはさんだ超極薄段ボール「マイクロフルート」は、3層構造により高い強度や緩衝性を発揮します。紙を薄くすることで省資源やごみ減容化につながるとともに、豊富な軽量原紙バリエーションで、プラスチックに代わる素材としてさまざまなお客様に活用いただいています。当社は、日本におけるマイクロフルートのパイオニアとして、生産シェアNO.1の実績とノウハウで、環境問題の解決に挑戦します。



発送箱とフィルムレスの緩衝材「押すネット」

ペリッとラミ×食品容器

ペリッとラミのマイクロフルート製食品容器は、フィルムをはがして食品を包むことで手を汚さないという特徴を持っています。また通常、汚れている紙容器はリサイクルできませんが、汚れたフィルムをはがし、紙容器部分のみとなったマイクロフルートは資源としてリサイクルすることも可能です。食べやすさだけでなく資源循環をも促す、紙製食品容器を実現しました。



ペリッとラミのマイクロフルート製食品容器



社会に関わる活動

安心して長く働ける職場環境の整備

奨学金の代理返還制度で 若年層の悩みをサポート

クラウン・パッケージでは若年層従業員の負担を軽減するため、日本学生支援機構が実施している「企業等の奨学金返還支援(代理返還)制度」に加入し、運営しています。

この制度は、貸与型奨学金の返還金額の一部または全額を企業が代理返還する制度で、2025年度まで累計79名がこの制度を利用しています。

利用者の満足度が高く、従業員の負担が軽減され、キャリアにおけるチャンスを広げる機会となっています。

期	入社歴	金額
第1期	5年目(入社4年0カ月経過時)	最大50万円
第2期	8年目(入社7年0カ月経過時)	最大100万円
第3期	12年目(入社11年0カ月経過時)	最大100万円

総額(1人当たり)

最大250万円

従業員のライフプランをサポートする 「ナイスミドル研修」を実施

50歳を超えた従業員を対象に、将来のライフプランを今一度見直し、セカンドキャリアのビジョンやプランの策定、公的年金の基礎などについて学んでもらうために「ナイスミドル研修」を行っています。

年に1度の本研修を通じてキャリアの節目における不安を払拭し、全世代の従業員が安心して活躍できる職場づくりにつながりました。



研修の様子

多様性を尊重した働き方の推進

一人ひとり安心して働ける職場へ

東京事業所は障がいを持つ従業員が生活しているグループホームの職員の方を現場に招待し、実際に勤務している様子や職場環境を見学していただきました。

実際の職場や本人の活躍を見学してもらうことで本人とその家族はもちろん、サポートに携わるすべての人との信頼関係を構築するとともに今後の働き方の意見交換ができる貴重な時間になりました。

今後も従業員一人ひとりに寄り添った取り組みの推進で誰もが安心して長く働ける職場をつくっていきます。



職場見学の様子

「仕事×育児」ハンドブックを製作

男性の育児休業取得が当たり前になっている今日、育休を迎える女性従業員のみならず、育休を迎える男性従業員や部下の育休をサポートする管理職にも役立つツールとして「仕事×育児」ハンドブックを製作しました。

出産、育児にまつわるさまざまな公的制度、社内規程が一冊にまとまっているため、妊娠から育休、復帰までの間に生じる不安を払拭し、自分らしく働くことをサポートします。

また、将来、育休を取得する可能性のある従業員にとってもキャリアプラン設計に役立ち、周囲の従業員が育休への理解度を深めることにもつながる一冊です。

当社は、今後も育児と仕事の両立をサポートするさまざまな取り組みを通じ、どのようなライフイベントの際にも自分らしく活躍できる社会の実現に貢献していきます。



ハンドブックのデザイン

言語バリアフリーの製造現場をめざす

外国人技能実習生が安心して能力を発揮できるよう、業務マニュアルの補足として、現場の経験則や微妙なニュアンスを母国語でドキュメント化し、共有する体制を構築しています。

各工場の実情や出身国の文化背景に応じ、必要な場所で即座に母国語の解説を確認できるようにすることで、言語バリアを低減し、身体的な安全のみならず心理的安全性にも配慮した労働環境を整備しています。

製造現場における意思疎通は、標準マニュアルだけでは網羅しきれない非言語（ノンバーバル）要素や暗黙知が多く存在します。

現場のオペレーター主体でこれらを可視化・相互共有するプロセスを経ることで、組織内の相互理解が強固になり、現場全体の生産性および作業効率の向上へとつながっています。



作業中の様子

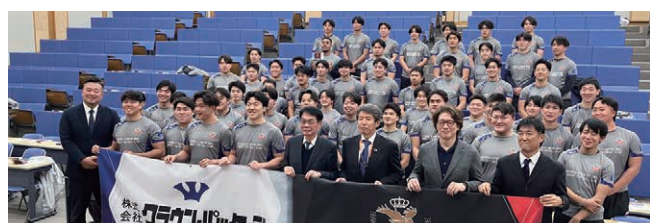
地域社会との調和と社会貢献活動

大学スポーツチームと初めてスポンサー契約を締結

当社は2025年、初めて大学スポーツ支援として「九州共立大学ラグビー部」とのスポンサー契約を結びました。

これまで、プロバスケットボールチーム「シーホース三河」、女子プロサッカーチーム「ちふれASエルフェン埼玉」、女子バレーボールチーム「アリーザ愛知」、プロラグビーチーム「豊田自動織機シャトルズ愛知」を支援しており、全部で5つのスポーツチームを支援することとなりました。

本契約を通じて学生たちの将来のチャンスを広げられるようにサポートし、キャリア形成につながる交流を深めていく予定です。



スポンサー契約時の集合写真

製造時の損紙を地域社会へ無償で配布

岐阜事業所では、地域の皆様からのご要望に応じて、製造時の損紙を無償で提供しています。近隣の幼稚園に提供した際には、造形展での作品材料として損紙が活用され、子どもたちの手によって新たな価値が生まれました。

廃棄されるはずの損紙が有意義に使われ、新しい形で価値を生み出すことで地域社会への恩返しともなり、地域の皆様と喜びを分かち合う関係の構築につながる貴重な機会となっています。



寄付した損紙が使われた造形展の様子

「飯能河原 秋の花火2025」へ協賛

埼玉事業所は2024年12月に奥むさし飯能観光協会へ加盟し、2025年度に初めて花火大会への協賛を行いました。

協賛にあたり、当社のSDプリント技術を活かして花火大会の情報を盛り込んだオリジナル団扇を製作しました。団扇の製作は、飯能観光協会にとっても初の試みで、大きな期待が寄せられました。大会当日は、多くの来場者の皆様に手に取っていただき、熱気あふれる会場で涼を届ける一助となりました。

今後も、地域の観光業を盛り上げるパートナーとして、多角的な支援を続けていきます。



花火大会当日、埼玉事業所の従業員

「カラフルウィッシュ」開発から10年

広島市の平和記念公園に平和への願いを込めて贈られた折り鶴を、新たに活躍させるべく開発したのが折り鶴を配合した段ボール用紙素材「カラフルウィッシュ」です。

物理的なリサイクルだけでなく折り鶴を折った人の気持ちを未来につなげるため、売り上げの一部は日本ユネスコ協会連盟に寄付され、平和事業の推進に役立てられます。

これからも思いを形にするモノづくりを未来につなげていきます。



折り鶴の分別の様子

製品の品質向上と安全性の確保

新たに2拠点でFSSC22000認証を取得

当社は、食品一次容器を製造する事業者として「安全、品質、衛生」を徹底しています。食品安全マネジメントシステムを構築・運用することで、より安全・安心な製品をお客様にお届けするため、食品安全マネジメントシステムの国際規格であるFSSC22000認証の取得を進めてきました。2025年度は、神奈川事業所、岐阜事業所が新たに認証取得しました。

今後も、皆様に安心してご利用いただけるように従業員一人ひとりが「安全、品質、衛生」を徹底していきます。



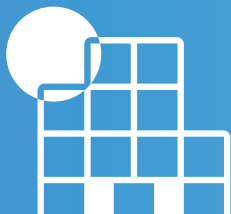
FSSC22000認定事業所での作業の様子



仙台・東京・埼玉・神奈川・岐阜・名古屋・大阪・九州事業所にて食品と直接的・間接的に接触する紙製製品の製造において食品安全マネジメントシステムFSSC22000認証取得



食品容器の例



企業統治に関わる活動

内部統制と透明性の確保

定期的な営業所監査の実施

当社では、全国に展開する営業所を対象に、本社財務経理部による定期的な営業所監査を実施しています。少人数体制の営業所が多く、本社からの管理が行き届きにくい環境であることを踏まえ、営業所単位での従業員のリスク意識向上と内部統制の強化を図っています。遠方の営業所にはそれぞれの営業所を所管する事業所の総務担当者も同行し、監査の有効性向上に努めています。

本社 財務経理部 佐々木結花

実際に営業所を訪れて、施設状況や個人情報の管理面などを再確認し、さまざまな潜在リスクを営業所担当者と共有できました。また、気候や地域性による悩みを直接聞き、感じたことにより、営業所の運営方法や規程の変更を考えるきっかけとなりました。



コンプライアンスの推進

会計税務リーダーカレッジを開講

2025年度より、会計部門の次世代リーダー育成を目的とした「会計税務リーダーカレッジ」を開講しています。各拠点の総務課から選出されたメンバーを対象に、通常業務だけでは習得が難しい会計・税務の専門知識を体系的に学ぶ機会を提供しています。プログラムは全9回・18講座で構成されており、実務に直結する知識の習得に加え、将来の経営基盤を支える人材育成にもつなげています。



会計税務リーダーカレッジ集合写真

拠点長研修会で労務リスクに関する講習を実施

全国の拠点長を対象に毎年開催している拠点長研修会において、当社の顧問社労士である特定社会保険労務士の太田氏を講師に迎え、「昨今の労務リスクと対応策」をテーマとした講習を実施しました。講習では、労働災害、労働時間管理、ハラスメント対応など、近年企業に求められる重要な労務課題について、実際の事例を交えながら解説いただきました。拠点運営における管理者としての役割や、未然防止に向けた具体的な対応策について理解を深める機会となりました。



拠点長研修会の様子

社内相談窓口における運用体制の強化

すべての従業員が安心して働ける職場環境づくりをめざし、社内相談窓口における運用体制の強化に取り組みました。各拠点の相談窓口担当者が安心して適切な一次対応を行えるよう、対応マニュアルを整備するとともに、勉強会を実施しました。勉強会では、「ハラスメントとは何か」「相談者への適切な対応方法」など、実務に必要な基礎知識を学んだほか、ロールプレイングを通じて実践的な対応力の向上を図りました。



勉強会でのロールプレイングの様子

リスク管理

サプライヤーアンケートを実施

当社では、「サプライヤーCSRガイドライン」に基づき、サプライヤーとともに持続可能なサプライチェーンの構築を推進しています。2025年度は、主要仕入先150社を対象にサプライヤーアンケートを実施し、人権・労働環境・法令遵守・環境配慮などの取り組み状況を確認しました。今後もサプライヤーとの対話を重ね、サプライチェーン全体の企業価値向上と健全な発展に努めていきます。

会社概要

商号	株式会社クラウン・パッケージ
本社所在地	〒485-8654 愛知県小牧市小針三丁目67番地
創立	1962年6月15日
資本金	1億円
従業員数	2,439名(グループ全体) 2,036名(単体)※2026年3月時点
関連会社	株式会社 包む クラウンパッケージ販売株式会社 株式会社コダマサービス 株式会社ヒューマンエコース 株式会社オカモト紙工 Nextgreen Crowning Package Pulp Molding Sdn. Bhd.

Webサイトのご案内

サステナビリティに関する詳細情報につきましては、
 当社Webサイトをご覧ください。
<https://www.crown-grp.co.jp/sustainability/>



表紙について

Designer

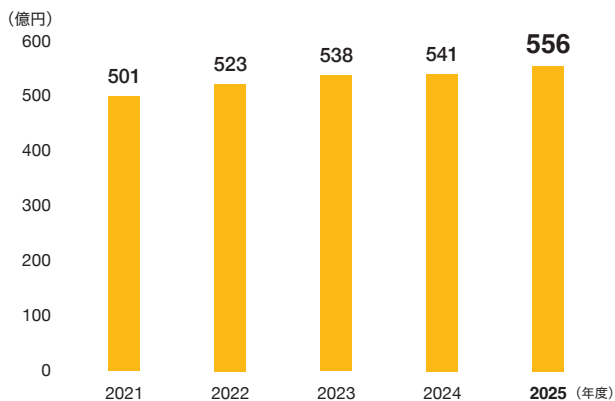
森 千夏 (MORI CHINATSU)

Design Concept

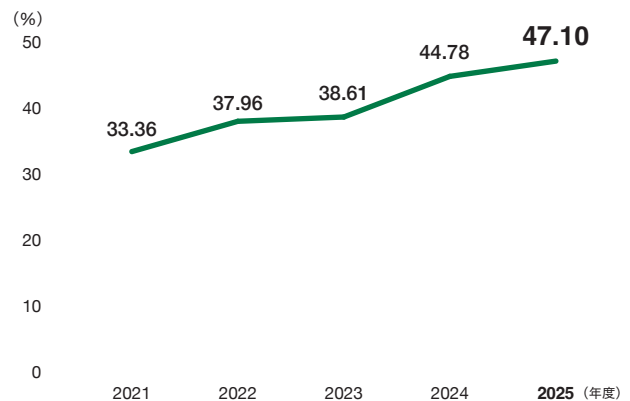
親しみのあるキャラクター表現と、ハートを抱く箱で「思いを形に」を象徴し、愛で未来を開く世界観を描きました。



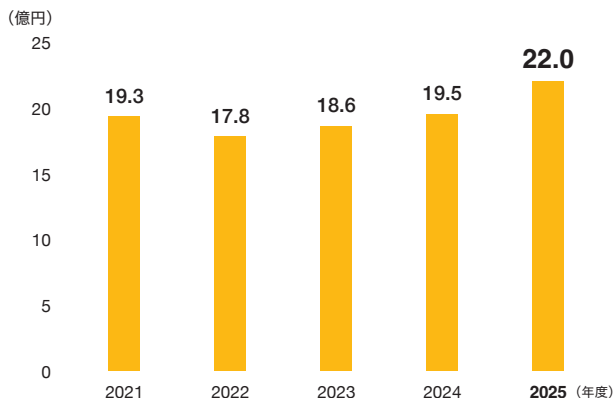
売上高



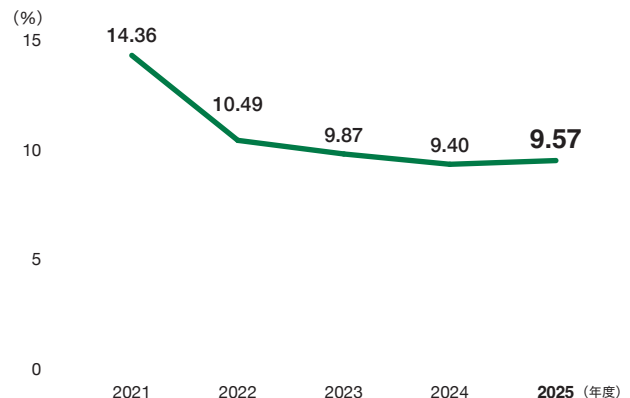
自己資本比率



税引後当期純利益



ROE(自己資本利益率)



責任ある森林管理
 のマーク
 FSC® C127777



クラウン・パッケージでは世界に責任ある森林管理を広めるための森林認証制度であるFSC®認証を全事業所に取得しています。

ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。